

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 1 月 30 日 (14 : 00～14 : 20)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤職員1名 パート職員4名 夜勤者1名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	8人	2人		13人

前回の改善計画	
職員が気兼ねなく研修に参加できる土壌を作り、提供する（ミーティングの活用）。 「気付きノート」の記入を促し、閲覧が出来る。 リスクマネジメントを研修に取り入れる。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
感染症や転倒、個々の利用者の状態に応じて注意喚起は行なっていたが、認知症に関してのリスクマネジメントを軸とした研修は出来なかった。その一方で気づきノートの導入による状態の変化に早期発見・早期対応が出来ている。一方からの見方でなく、係る介護員がそれぞれ記入することにより幅が広がっているように感じられる。過去のヒヤリハット、事故記録を参考としてリスクマネジメントを絡めて日々の気付きを継続していく。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	2人	8人	3人		13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		7人	4人	2人	13人
③	地域連絡会に参加していますか	2人	6人	3人	2人	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		8人	3人	2人	13人

できている点	
夜勤研修や日々のカンファレンスを通じて、新しい取り組みや事案の検討など、具体的な内容を学習できた。 必要なスキルはスタッフに周知されている。 リスクマネジメントの一環として、転倒予防や嚥下状態の確認、感染症予防の声掛けを行なっている。 病院主催の認知症研修に行く事ができ、大変勉強になった。	

できていない点	
ミーティングに関して、意見のばらつきがあり対応が出来ていない面がある。 リスクマネジメント研修が行われていない。 他施設が主催する研修への参加が行えていない。また研修期間が長期の場合、人員が足りない介護現場に申し訳ないとの理由で遠慮してしまう。	

次回までの具体的な改善計画	
職員が気軽に研修に参加できるようにシフトの調整などを行なう。また、研修に行った人は研修報告をミーティング内でも行い、職員全体のスキルアップへ繋げられるようにする。 内部研修を昼夜間の職員で行ない、転倒・事故・誤嚥・認知症などのリスク管理に取り入れ、リスクマネジメント研修として実行していく。	